

第4学年 音楽

第4学年の学習到達目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

第4学年の主な学習内容

学期	単元名 は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	学年の歌 子どもの世界	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	
	歌と楽器のひびきを合わせよう さくらさくら いろいろな木の実 歌のにじ とんび	旋律の階名視唱や視奏に親しみ、声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏することができるようにする。	リズムにのってみんなで合わせる。 歌と楽器の響き合いを感じながら、演奏する。
	日本の音楽に親しもう 花がさ音頭 / 神田ばやし こきりこぶし まきばの朝	旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむようにする。	郷土の音楽を聴く。 日本のふしを歌う。
	いろいろな音のちがいを感じ取ろう 音集め 音のカーニバル とんび / (パディネリ / ガボット / クラリネットポルカ)	音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	いろいろな音を集めましょう。 音の組み合わせを工夫して演奏する。 木管楽器の音を聴き比べる。
後期	ふしのとくちょうを感じ取ろう もみじ あいのあいさつ / ピチカートポルカ 陽気な船長 あたらしいえがお オーラリー	旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの感じの違いを聴き比べる。 ふしの感じを生かして演奏する。 サミングを覚えて、ふしの感じを生かして演奏する。
	曲の気分を感じ取ろう 友だちシンドバッド つるぎのまい 冬の歌	曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	曲の気分を生かして歌う。 様子を思い浮かべながら聴く。 曲の気分を生かして演奏する。

音をきき合って合わせよう パレードホッホー きゆう友 空に雲に おどろう楽しいポーレチケ 茶色の小びん	声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにする。 互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの重なり合いを楽しみながら、歌ったり聴いたりする。 きれいな響きで合唱する。 音の重なりを感じながら合奏する。
生き生きと歌おう 歌よひびけ グッデーグッバイ believe 君が代	発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。	リズムに合わせて歌う。 呼吸の仕方に気をつけて、発声や発音を意識して歌う。 かけ合いや一緒に歌うタイミングに気をつけて歌う。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現の仕方を工夫している。</p> <p>【表現の技能】 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽を作ったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴いている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>活動の様子や、ワークシート、歌やリコーダーなどの楽器の課題テストなどによって評価していきます。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) 「ふしのとくちょうを感じ取ろう」の学習では、旋律の特徴をとらえて表現の仕方を工夫できるようにするために、2つの教材を対比させながら、活動を進めていきます。</p> <p>(2) 作って表現する活動では、鑑賞の活動と関連させながら楽器が持つ固有の音の対比や組み合わせを工夫する活動を通して、音に対する感性を育てていくようにします。</p> <p>(3) 鑑賞の活動では、日本各地に伝わる民謡を聴き比べ、民謡の持つ独特な響きを味わいます。</p>
--

使用教材等

教科書「小学生のおんがく 4」(教育芸術社) CD、ビデオ、楽器、リコーダー曲集「飛行船の旅」、みんなの歌などを使用します。

留意事項

<p>家庭での歌やリコーダー練習にご協力をお願いします。</p> <p>リコーダーの練習は、主に音楽の授業や教室での練習を積み重ねていきたいと思っております。長期休業中のリコーダー練習をよろしくをお願いします。</p> <p>教科書や歌集「みんなの歌」を利用して、レパートリーを増やし、いろいろなところで歌を歌えると楽しいと思っております。ご家庭でも一緒に歌ってみてください。</p>
--